



ホアキン・レギア ANIA 創設者（ペルー）

アインシュタインが言ったように、問題を作り出すのと同じレベルの意識では、問題を解決できません。私たちは、人間中心、男性中心、大人中心という西洋の都市型の世界観から、どのように生きたいかというビジョンをつくり上げてきました。このビジョンの欠落と間違いは、自然をモノとしてとらえ、私たちの幸福をそれとは無関係に考えていることです。このことが、今日の環境危機、価値観の危機を招いているのです。

この状況を改善するために私たちがしなければならないことの中で、唯一止めることのできないことは、新しい世代が生命に対する積極的な共感力、つまり、自分自身や他の人々、そして地球の幸福を生み出す日々の行動を通じて共通善を優先させる能力を育んでいくことです。

子どもたちが生命への積極的な共感を育むためには、母なる大地が教師として必要です。母なる大地を知り、愛し、大切にすることを教えてくれるのは、生命そのものに勝るものではありません。そのため、ペルーでは、母なる大地を教師として採り上げ、可視化し、学校に「自然」の教室を設置することを始めました。

母なる大地は、子どもたちが内に秘めている神聖な輝きを活性化することができ、私たち人間の目的は、先祖を敬いながら、人間、植物、動物、そして未来の世代のためにより良い世界をつくることだと知って、子どもたちが良い心を持って成長できるようになると、私は確信しています。

富士宣言は美しく深遠なフレームワークであり、調和の文化に向けた私のこのイニシアティブにインスピレーションを与えています。